


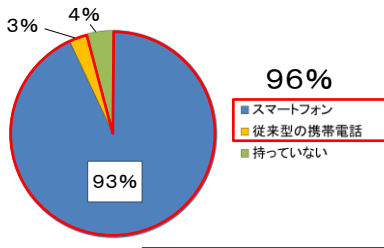













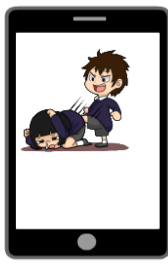




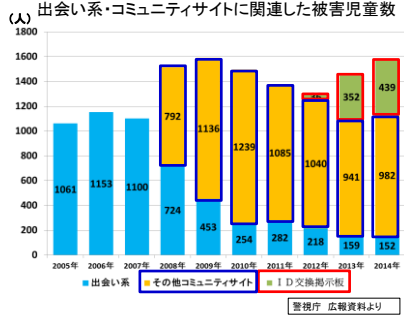


ス ラ イ ド 1	<div>情報モラル教育</div> <div><div>愛媛県総合教育センター 教育開発部 情報教育室</div></div>	本日は、「情報モラル教育」について研修します。 ●		
ス ラ イ ド 2	<div>情報モラル教育</div> <div><div>日常モラルの指導</div><div>+</div><div>情報社会の特性の理解</div></div> <div>↓</div> <div>情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度の育成</div>	情報モラル教育とは ● 日常モラルの指導と情報社会の特性の理解を通して、 ● 「情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度」を育成する教育です。 ●		
ス ラ イ ド 3	<div>情報社会の特性の理解</div> <table><tr><td>利便性(光) ・ 遠くの人ともリアルタイムに交流 ・ 容易に情報の入手や発信 ・ 自宅で買い物 生活を便利で豊かにする</td><td>危険性(影) ・ 不正アクセス ・ ウイルス ・ ネットいじめ ・ ネット依存 被害者にも加害者にもなる危険</td></tr></table> <div>教員自身が理解して指導する</div>	利便性(光) ・ 遠くの人ともリアルタイムに交流 ・ 容易に情報の入手や発信 ・ 自宅で買い物 生活を便利で豊かにする	危険性(影) ・ 不正アクセス ・ ウイルス ・ ネットいじめ ・ ネット依存 被害者にも加害者にもなる危険	情報社会は ● 遠くの人ともリアルタイムに交流できたり、容易に情報の入手や発信ができたりします。また、自宅に居ながら買い物をすることもできるなど、生活を便利で豊かにしてくれます。その反面、 ● 不正アクセスやウイルス、ネットいじめやネット依存などによって、被害者にも加害者にもなる危険もあります。児童生徒を指導するためには、光と影のある情報社会の特性を ● 教員自身が理解して指導することが重要です。 ●
利便性(光) ・ 遠くの人ともリアルタイムに交流 ・ 容易に情報の入手や発信 ・ 自宅で買い物 生活を便利で豊かにする	危険性(影) ・ 不正アクセス ・ ウイルス ・ ネットいじめ ・ ネット依存 被害者にも加害者にもなる危険			
ス ラ イ ド 4	<div>研修内容</div> <div>1 インターネット利用の現状 2 ネットいじめ 3 インターネットによる被害 4 学校で行う情報モラル教育</div>	そこで、今日の研修では、インターネット利用の現状、ネットいじめ、インターネットによる被害、学校で行う情報モラル教育について説明します。 ●		


ス ラ イ ド 5	<div>1 インターネット利用の現状</div> <div></div>	<div>まず始めは、インターネットの利用と現状についてです。</div> <div>●</div>																								
ス ラ イ ド 6	<div>年齢別インターネット利用率（平成25年度末）</div> <div><table><tr><th>年齢</th><th>利用率 (%)</th></tr><tr><td>全体</td><td>82.8</td></tr><tr><td>6～12歳</td><td>73.3</td></tr><tr><td>13～19歳</td><td>97.9</td></tr><tr><td>20～29歳</td><td>97.5</td></tr><tr><td>30～39歳</td><td>97.4</td></tr><tr><td>40～49歳</td><td>96.6</td></tr><tr><td>50～59歳</td><td>91.4</td></tr><tr><td>60～69歳</td><td>76.6</td></tr><tr><td>65～69歳</td><td>68.9</td></tr><tr><td>70～79歳</td><td>48.9</td></tr><tr><td>80歳以上</td><td>22.3</td></tr></table><div>総務省 平成26年度版情報通信白書から</div></div>	年齢	利用率 (%)	全体	82.8	6～12歳	73.3	13～19歳	97.9	20～29歳	97.5	30～39歳	97.4	40～49歳	96.6	50～59歳	91.4	60～69歳	76.6	65～69歳	68.9	70～79歳	48.9	80歳以上	22.3	<div>これは、平成25年度末に総務省が調査した年齢別インターネット利用率の結果です。</div> <div>●小学生は73.3%、</div> <div>●中学生以上になると97.9%の生徒がインターネットを利用しています。</div> <div>●</div>
年齢	利用率 (%)																									
全体	82.8																									
6～12歳	73.3																									
13～19歳	97.9																									
20～29歳	97.5																									
30～39歳	97.4																									
40～49歳	96.6																									
50～59歳	91.4																									
60～69歳	76.6																									
65～69歳	68.9																									
70～79歳	48.9																									
80歳以上	22.3																									
ス ラ イ ド 7	<div>インターネットが利用できる自分専用の機器を所有している児童生徒の割合（愛媛県）</div> <div><table><tr><th>学年</th><th>割合 (%)</th></tr><tr><td>小5</td><td>88.8</td></tr><tr><td>小6</td><td>89.5</td></tr><tr><td>中1</td><td>90.3</td></tr><tr><td>中2</td><td>90.2</td></tr><tr><td>中3</td><td>89.3</td></tr></table><div>調査:2015年1月実施 愛媛県教育委員会</div></div>	学年	割合 (%)	小5	88.8	小6	89.5	中1	90.3	中2	90.2	中3	89.3	<div>県内でインターネットが利用できる自分専用の機器を所有している児童生徒の割合です。</div> <div>小学5年生から中学3年生までの児童生徒の約9割が持っています。</div> <div>●</div>												
学年	割合 (%)																									
小5	88.8																									
小6	89.5																									
中1	90.3																									
中2	90.2																									
中3	89.3																									
ス ラ イ ド 8	<div>インターネットが利用できる機器</div> <div><div>スマートフォン パソコン 携帯ゲーム機</div><div>タブレット端末 携帯音楽プレイヤー</div></div>	<div>どのような機器を持っているかというと</div> <div>●スマートフォン</div> <div>●パソコン</div> <div>●携帯ゲーム機</div> <div>●タブレット端末</div> <div>●携帯音楽プレイヤーなどです。</div> <div>●</div>																								
ス ラ イ ド 9	<div>自分の携帯電話・スマートフォンを所有している児童生徒の割合（愛媛県）</div> <div><table><tr><th>学年</th><th>平成24年度 (%)</th><th>平成25年度 (%)</th><th>平成26年度 (%)</th></tr><tr><td>小5</td><td>25</td><td>35</td><td>40.1</td></tr><tr><td>小6</td><td>25</td><td>35</td><td>38.0</td></tr><tr><td>中1</td><td>30</td><td>35</td><td>41.8</td></tr><tr><td>中2</td><td>35</td><td>40</td><td>43.5</td></tr><tr><td>中3</td><td>40</td><td>45</td><td>48.1</td></tr></table><div>調査:2015年1月 調査人数:公立小中学校対象学年全児童生徒5万7千人 愛媛県教育委員会 義務教育課</div></div>	学年	平成24年度 (%)	平成25年度 (%)	平成26年度 (%)	小5	25	35	40.1	小6	25	35	38.0	中1	30	35	41.8	中2	35	40	43.5	中3	40	45	48.1	<div>これは、自分の携帯電話・スマートフォンを所有している児童生徒の割合です。</div> <div>毎年増加傾向にあることが分かります。</div> <div>●平成26年度は、小学生でも4割程度の児童が自分の携帯電話・スマートフォンを所有していました。</div> <div>●</div>
学年	平成24年度 (%)	平成25年度 (%)	平成26年度 (%)																							
小5	25	35	40.1																							
小6	25	35	38.0																							
中1	30	35	41.8																							
中2	35	40	43.5																							
中3	40	45	48.1																							



ス ラ イ ド 10	<p>自分の携帯電話・スマートフォンを所有している高校生の割合（愛媛県）</p>  <p>96%</p> <p>93%</p> <p>■ スマートフォン ■ 従来型の携帯電話 ■ 持っていない</p> <p>調査: 2015年6月実施 愛媛県教育委員会</p>	<p>高校生になると、</p> <ul style="list-style-type: none">● 96%の生徒が自分の携帯電話・スマートフォンを所有しており、93%がスマートフォンです。 <p>「子どもたちはスマートフォンを所有し、インターネットを利用する。」ということを前提に指導しなければいけません。</p> <ul style="list-style-type: none">●								
ス ラ イ ド 11	<p>『SNS』って、何？</p>	<p>多くの児童生徒は、スマートフォンを使ってSNSを利用しています。</p> <p>SNSという言葉はよく聞かと思いますが、どんなものか分かりますか？</p> <ul style="list-style-type: none">●								
ス ラ イ ド 12	<p>『SNS』とは</p> <p>Social Networking Service</p> <p>人と人とがネット上でつながりを持つためのコミュニティサービス</p>	<p>SNSとは</p> <ul style="list-style-type: none">● ソーシャル ネットワーク サービスの頭文字をとったもので、● 人と人とがネット上でつながりを持つコミュニティサービスの総称です。 <ul style="list-style-type: none">●								
ス ラ イ ド 13	<p>『SNS』の例</p> <table><tr><td></td><td>LINE(ライン)</td></tr><tr><td></td><td>Facebook(フェイスブック)</td></tr><tr><td></td><td>Twitter(ツイッター)</td></tr><tr><td></td><td>Mixi(ミクシー)</td></tr></table>		LINE(ライン)		Facebook(フェイスブック)		Twitter(ツイッター)		Mixi(ミクシー)	<p>例えば、</p> <p>LINE(ライン) Facebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)、mixi(ミクシー)などたくさんあります。</p> <ul style="list-style-type: none">●
	LINE(ライン)									
	Facebook(フェイスブック)									
	Twitter(ツイッター)									
	Mixi(ミクシー)									
ス ラ イ ド 14	<p>2 ネットいじめ</p> 	<p>次はネットいじめについてです。</p> <ul style="list-style-type: none">●								




ス ラ イ ド 15	<div>ネットいじめの変遷</div> <div><div>掲示板でのいじめ</div><div>悪口、中傷書き込み なりすまし投稿</div></div> <div><div>電子メールでのいじめ</div><div>悪口、中傷メール チェーンメール</div></div> <div><div>LINEでのいじめ</div><div>悪口、中傷書き込み 仲間外し</div></div>	ネットいじめの変遷です。 ●数年前までは、学校裏サイトと言われる掲示板サイトなどでの誹謗中傷によるいじめが多くありました。 ●その後電子メールでのいじめへと変わっていき ●現在、最も多いのがLINEによるいじめです。 掲示板でのいじめや電子メールでのいじめがなくなったわけではありませんが、今はLINEを通した仲間外しなどのいじめが多いです。 ●
ス ラ イ ド 16	<div>LINE外しの原因(例)1</div> <div>・「既読」なのに返信しない。 ・いつまでも「既読」にならない。</div> <div>ムカつく。外そう。</div>	LINEによる仲間外しが起こるきっかけは、些細なことが多いようです。例えば、 ●既読なのに返信しない。いつまでも既読にならない。という理由です。 ●その結果、「ムカつく。外そう。」ということになっています。 相手の立場を考えることが全くできていません。 ●
ス ラ イ ド 17	<div>LINE外しの原因(例)2</div> <div>・短い文章なので誤解が起こる。</div> <div>日曜日、映画を観に行かない？ C子はなんで行くの？</div> <div>ひどい。許せない。</div>	また、●短い文章なので誤解が起こることがあります。 グループトークでA子さんが●「日曜日、映画を観に行かない？」とメッセージを送りました。「いいね。」とか「何時にする」とかグループで盛り上がっていました。 B子さんはC子さんと一緒に行きたかったので、自転車にするのか、電車にするのか聞きたくて、●「C子はなんで行くの？」と送りました。 それを見たC子さんは●「なんでいくのなんて、ひどい。私が行ったら迷惑なの。許せない。」と感じました。 この様に、短い文字だけでは誤解を生じることがあります。直接会って話をすることの大切さを子どもたちに教えていかなければいけません。 ●
ス ラ イ ド 18	<div>写真の投稿によるいじめ</div> <div></div>	また、写真の投稿によるいじめや ●

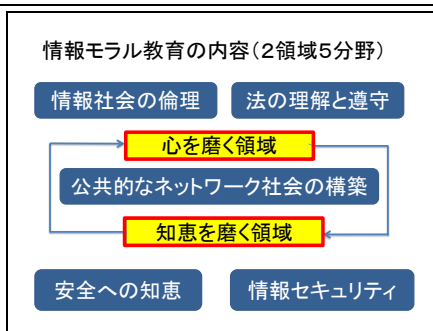
<p>ス ラ イ ド 19</p>	<p>悪口の送信によるいじめ</p> 	<p>●(文字が出た後) 悪口の送信によるいじめもあります。</p> <p>●</p>
<p>ス ラ イ ド 20</p>	<p>LINEいじめの特徴</p> <p>閉じられた世界でのいじめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発覚しにくい ・ エスカレートしやすい <p>子どもが相談できる信頼関係</p>	<p>悪口や仲間外しなどのいじめは、ネットが普及したから生まれたわけではなく、昔からありました。</p> <p>しかし、ネットいじめは</p> <p>●閉じられた世界でのいじめです。仲間内だけで行われるため、</p> <p>●発覚しにくく●エスカレートしやすいという特徴があります。</p> <p>ネットいじめは、児童生徒や保護者からの訴えによって分かることが多いです。</p> <p>普段から、●子どもが相談できる信頼関係をつくっておくことが、早期発見に役立ちます。</p> <p>●</p>
<p>ス ラ イ ド 21</p>	<p>LINEいじめの対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対策(組織で対応) <ul style="list-style-type: none"> – 実態調査 – 資料、証拠の確保 – 学校と家庭の連携 – 被害児童生徒のケア 	<p>ネットいじめが発覚した時の対策は、</p> <p>●組織で対応することです。</p> <p>●被害者、加害者、周りの児童生徒などからしっかり状況を聞きます。</p> <p>●また、後で、やった、やってないと互いの言い分が食い違うといけないので、証拠となる文字や画像は残しておきます。</p> <p>●そして、家庭へ事実を伝え、一緒に解決するよう依頼します。</p> <p>●一番大切なのは、被害児童生徒のケアです。ネットいじめを受けた子は、想像以上にダメージを受けていることが多いです。被害児童生徒に寄り添い、心のケアに努めてください。</p> <p>●</p>

ス ラ イ ド 22	<h3>3 インターネットによる被害</h3> 	<p>次は、インターネットによる被害についてです。</p> <p>いろいろな被害がありますが、その中で誘い出し、不正アプリ、SNSへの不適切な投稿、ネット依存について説明します。</p> <p>●</p>																																												
ス ラ イ ド 23	<p>出会い系・コミュニティサイトに関連した被害児童数</p>  <table><thead><tr><th>年</th><th>出会い系</th><th>その他コミュニティサイト</th><th>ID交換掲示板</th></tr></thead><tbody><tr><td>2005年</td><td>1061</td><td></td><td></td></tr><tr><td>2006年</td><td>1153</td><td></td><td></td></tr><tr><td>2007年</td><td>1100</td><td></td><td></td></tr><tr><td>2008年</td><td>724</td><td>792</td><td></td></tr><tr><td>2009年</td><td>453</td><td>1136</td><td></td></tr><tr><td>2010年</td><td>254</td><td>1239</td><td></td></tr><tr><td>2011年</td><td>282</td><td>1085</td><td></td></tr><tr><td>2012年</td><td>218</td><td>1040</td><td></td></tr><tr><td>2013年</td><td>159</td><td>941</td><td>352</td></tr><tr><td>2014年</td><td>152</td><td>982</td><td>439</td></tr></tbody></table> <p>（単位：人）</p> <p>（資料：警視庁 広報資料より）</p>	年	出会い系	その他コミュニティサイト	ID交換掲示板	2005年	1061			2006年	1153			2007年	1100			2008年	724	792		2009年	453	1136		2010年	254	1239		2011年	282	1085		2012年	218	1040		2013年	159	941	352	2014年	152	982	439	<p>毎年、出会い系・コミュニティサイトに起因した誘い出しによる被害があります。</p> <p>ここでいう児童とは18歳未満の子どものことです。</p> <p>●SNSやオンラインゲームなどのコミュニティサイトが原因で被害にあった子どもが最も多いです。</p> <p>●2012年に現れた無料通話アプリのIDを交換する掲示板が原因の犯罪被害が急激に増加していることも要注意です。</p> <p>●</p>
年	出会い系	その他コミュニティサイト	ID交換掲示板																																											
2005年	1061																																													
2006年	1153																																													
2007年	1100																																													
2008年	724	792																																												
2009年	453	1136																																												
2010年	254	1239																																												
2011年	282	1085																																												
2012年	218	1040																																												
2013年	159	941	352																																											
2014年	152	982	439																																											
ス ラ イ ド 24	<h3>ID交換掲示板</h3> 	<p>ID交換掲示板は、自分のIDをネット上に公開できる掲示板です。</p> <p>●IDをネットに公開すると</p> <p>●不特定多数の人が見ることができます。</p> <p>●そのため、悪意を持った人とつながってしまうことがあります。</p> <p>●</p>																																												
ス ラ イ ド 25		<p>ネット上で知り合った人と●●●●●（文字を目で読めるように間をとる）このような会話をして、実際に会って、</p> <p>●思っていたのと全く違う人で、被害にあったという事例もたくさんあります。</p> <p>●</p>																																												

ス ラ イ ド 26	<p>誘い出し被害の対策</p> <ul style="list-style-type: none">知らない人には会わない<ul style="list-style-type: none">甘い話には危険がある迷った時は家族や先生に相談する<ul style="list-style-type: none">身近な大人の意見を聞く <p>26</p>	<p>誘い出し被害の対策は、</p> <ul style="list-style-type: none">知らない人には会わないことです。 <p>甘い話には危険があり、取り返しのつかない犯罪に巻き込まれることもあります。</p> <ul style="list-style-type: none">そして、どうしようか迷った時は、家族や先生に相談することです。 <p>一人で判断せずに、身近な大人の意見を聞くことを子どもたちに伝えてください。</p> <ul style="list-style-type: none">																										
ス ラ イ ド 27	<p>不正アプリ</p> <p>累計で400万種</p>  <table><caption>不正アプリの件数 (2014年)</caption><tr><th>月</th><th>件数</th></tr><tr><td>1月</td><td>1,551,000</td></tr><tr><td>2月</td><td>1,821,000</td></tr><tr><td>3月</td><td>2,094,000</td></tr><tr><td>4月</td><td>2,289,000</td></tr><tr><td>5月</td><td>2,499,000</td></tr><tr><td>6月</td><td>2,683,000</td></tr><tr><td>7月</td><td>2,814,000</td></tr><tr><td>8月</td><td>2,962,000</td></tr><tr><td>9月</td><td>3,518,000</td></tr><tr><td>10月</td><td>3,786,000</td></tr><tr><td>11月</td><td>4,121,000</td></tr><tr><td>12月</td><td>4,259,000</td></tr></table> <p>2014年</p> <p>トレンドマイクロ調べ</p>	月	件数	1月	1,551,000	2月	1,821,000	3月	2,094,000	4月	2,289,000	5月	2,499,000	6月	2,683,000	7月	2,814,000	8月	2,962,000	9月	3,518,000	10月	3,786,000	11月	4,121,000	12月	4,259,000	<p>次は不正アプリについてです。</p> <p>スマートフォンはコンピュータと同じなので、ウイルスや不正アプリ対策が必要です。</p> <p>不正アプリは毎年増え続け、</p> <ul style="list-style-type: none">2014年の12月時点で、400万種に達しています。 <p>一年間で、270万種を超える不正アプリが見つかっています。</p> <ul style="list-style-type: none">
月	件数																											
1月	1,551,000																											
2月	1,821,000																											
3月	2,094,000																											
4月	2,289,000																											
5月	2,499,000																											
6月	2,683,000																											
7月	2,814,000																											
8月	2,962,000																											
9月	3,518,000																											
10月	3,786,000																											
11月	4,121,000																											
12月	4,259,000																											
ス ラ イ ド 28	<p>不正アプリ</p> <p>便利ツールを装う</p> <ul style="list-style-type: none">アドレス帳のデータを抜き取る <p>インストール時は正規</p> <ul style="list-style-type: none">アップデートで不正アプリに変化 <p>セキュリティ対策</p>	<p>不正アプリの手口は実に巧妙で、</p> <ul style="list-style-type: none">便利ツールを装ったものが多く、 <p>「電池を長持ちさせるアプリ」「電波を改善させるアプリ」など、人が欲しがりそうな名前が付けられています。</p> <p>これをインストールすると、アドレス帳のデータ、通話履歴など外部に流出されます。</p> <ul style="list-style-type: none">さらには、初期のインストール時には正規のアプリのはずだったのに、アップデートで不正アプリに変化させるといった手口も出てきています。セキュリティソフトを利用し、むやみやたらにアプリをインストールしないことが大切です。																										
ス ラ イ ド 29	<p>SNSへの不適切な投稿</p> <ul style="list-style-type: none">アルバイト従業員による不適切な画像の投稿行員の身内による芸能人来店情報のツイッターへの投稿	<p>SNSへの不適切な投稿も問題になっています。</p> <ul style="list-style-type: none">アルバイト従業員がピザ生地を顔に貼り付けた写真やコンビニのアイスクースに寝そべった写真など、不適切な画像を投稿した事件が世間を騒がせました。また、最近では銀行の行員の娘が芸能人来店情報をツイッターに投稿した事件が報道されました。																										

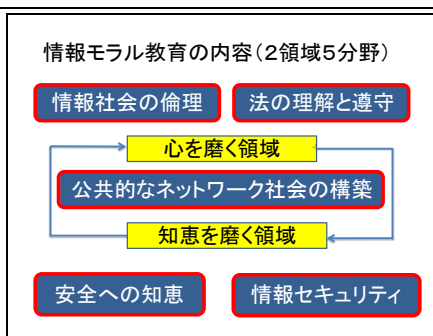
ス ラ イ ド 30	<p style="text-align: center;">その結果・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本人や店が特定 ・ 商品廃棄、店の責任 ・ 威力業務妨害で書類送検 ・ 損害賠償請求 ・ 学校を退学 ・ 就職の取消し ・ 投稿者の情報がネットで拡散 	<p>安易に投稿した結果どうなったかという、 「本人や店が特定」され、「商品は廃棄、店は責任」を追及されました。</p> <p>高校生でも、「威力業務妨害で書類送検」され、「損害賠償を請求」されました。</p> <p>「学校を退学」になったり、「就職が取り消されたり」もしました。</p> <p>そして、「投稿者の情報がネットで拡散」されました。</p> <p>軽い気持ちで、不適切な投稿をしたために、今後の人生を台無しにする事態へと発展してしまったのです。</p> <p>●</p>
ス ラ イ ド 31	<p style="text-align: center;">投稿する前に、</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 悪口を書いていない？ <input checked="" type="checkbox"/> バレないと思っていない？ <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報は入っていない？ <input checked="" type="checkbox"/> リツイート(転送)されてもいい？ <input checked="" type="checkbox"/> いま冷静ですか？ <p style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 5px;">全世界の人に「あなたが投稿した」と知られても大丈夫ですか？</p>	<p>投稿する前に</p> <p>悪口を書いていない？</p> <p>バレないと思っていない？</p> <p>個人情報は入っていない？</p> <p>リツイートされてもいい？</p> <p>いま冷静ですか？</p> <p>●全世界の人に「あなたが投稿した」と知られても大丈夫か考えることを指導してください。</p> <p>●</p>
ス ラ イ ド 32	<p style="text-align: center;">中・高校生のネット依存者数</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>推計 51万8千人</p> <p>(全体の7%)</p> <p><small>(2013年8月 厚生労働省研究班調査結果)</small></p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">1クラス30人学級なら・・・2人いる割合</p>	<p>次はネット依存についてです。</p> <p>2013年厚生労働省の調査によると、中学生・高校生のネット依存者数は、●推計で51万8千人にのぼるといわれています。</p> <p>これは、全体の7%にあたり、</p> <p>●1クラス30人学級なら・・・2人はいる割合です。</p> <p>●</p>
ス ラ イ ド 33	<p style="text-align: center;">ネット依存になると</p> <p style="text-align: center;">勉強に集中できない 寝ることもできない</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="background-color: red; color: white; text-align: center; padding: 5px;">スマートフォンに苦しむ生活</p>	<p>ネット依存になると</p> <p>●「勉強に集中できなくなる」</p> <p>●スマートフォンが気になって「寝ることさえできない」状況になり、</p> <p>●スマートフォンに苦しむ生活になります。</p> <p>便利なはずのネットのために、多くの子どもが被害にあっていているという現状を知ってください。</p> <p>●</p>

ス ラ イ ド 34	<p>児童生徒の安全・安心のために 共通のルール作りをする。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・夜は原則9時まで！ ・すぐに返信を求めない！ ・人の悪口は書かない！ ・いじめは絶対にしない！ <p>など</p>	<p>ネットいじめやネット依存を防ぎ、児童生徒の安全・安心のために、「共通のルール作りをする」ことを勧めます。</p> <p>●例えば、</p> <p>「・夜は原則9時まで！」</p> <p>「・すぐに返信を求めない！」</p> <p>「・人の悪口は書かない！」</p> <p>「・いじめは絶対にしない！」</p> <p>などルールを作ることで子どもたちを守ることができます。●</p>
ス ラ イ ド 35	<p>4 学校で行う情報モラル教育</p> 	<p>最後に、学校で行う情報モラル教育について説明します。</p> <p>●</p>
ス ラ イ ド 36	<p>4 学校で行う情報モラル教育 小学校学習指導要領 総則</p> <p>第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項</p> <p>(9) 各教科等の指導に当たっては、児童が…情報モラルを身に付け、適切に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、……</p>	<p>小学校学習指導要領には、児童が情報モラルを身に付ける学習活動の充実について述べられています。</p> <p>中学校、高等学校、特別支援学校の学習指導要領にも同様の内容が述べられています。</p> <p>●</p>
ス ラ イ ド 37	<p>情報モラル教育を指導するために</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル教育とは ・情報モラル教育の進め方 ・情報モラル指導カリキュラムチェックリスト ・情報モラル教育指導例 ・参考資料 <p>文部科学省 国立教育政策研究所 平成23年3月</p>	<p>情報モラル教育を指導するに当たっては、</p> <p>●平成23年3月に文部科学省から出された「情報モラル教育実践ガイダンス」が参考になります。</p> <p>●</p>

ス
ラ
イ
ド
38

情報モラル教育の内容は

- 「心を磨く領域」と●「知恵を磨く領域」の2領域

ス
ラ
イ
ド
39

- 「情報社会の倫理」●「法の理解と遵守」●「安全への知恵」●「情報セキュリティ」●「公共的なネットワーク社会の構築」の5分野があり、これらの内容をもれなく扱うことが大切です。

ス
ラ
イ
ド
40

情報モラル指導カリキュラムチェックリスト

指導事項	学習目標（達成率の目安）					
	1	2	3	4	5	6
<p>① 情報と知識の活用</p> <p>② 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>③ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>④ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑤ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑥ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑦ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑧ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑨ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑩ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑪ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑫ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑬ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑭ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑮ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑯ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑰ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑱ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑲ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>⑳ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉑ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉒ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉓ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉔ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉕ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉖ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉗ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉘ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉙ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉚ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉛ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉜ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉝ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉞ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㉟ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊱ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊲ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊳ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊴ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊵ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊶ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊷ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊸ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊹ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊺ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊻ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊼ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊽ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊾ 情報と知識の活用に関する学習態度</p> <p>㊿ 情報と知識の活用に関する学習態度</p>						

情報モラル指導カリキュラムチェックリストを利用すると、
系統的な情報モラル教育を行うことができます。

- この様に、どの学年でどのような内容を指導するか示されています。

ス
ラ
イ
ド
41

情報モラル指導カリキュラムチェックリスト

また、

ス
ラ
イ
ド
42

情報モラル指導カリキュラムチェックリスト

情報モラル指導カリキュラムチェックリスト

項目	内容	確認
A	(学習指導要領に指導内容として記載されている教科等)	
B	(学習指導要領解説に指導内容として示されている教科等)	
C	(学習指導要領や解説に記載されていないが、関連する内容として指導可能な教科等)	

教科	外国語	道徳	総合	体育	音楽	美術	技術・家庭科	社会	理科	外国語
社会(公民)	美術・技術(家・技術)	技・家(技術)	国語・技術(家・技術)	理科	外国語	道徳	総合	体育	音楽	美術
国語(音楽・美術)	技・家(技術)	国語・技術(家・技術)	理科	外国語	道徳	総合	体育	音楽	美術	技術・家庭科

- 指導する内容がどの教科等で指導を行うことができるのか例も示してあります。

指導内容を年間指導計画に位置付け、漏れなく系統的に指導することが大切です。

-

<p>ス ラ イ ド 43</p>	<p style="text-align: center;">参考資料</p> <p>★「教育の情報化に関する手引」(平成 22 年) <small>(文部科学省) http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyoushou/1259413.htm</small></p> <p>○「情報モラル」指導実践キットガイド(平成 19 年) <small>(財) 日本教育工芸会編成) http://kyosyo.info/moral-guidebook-2007/kickoff/index.html</small></p> <p>○情報モラル指導ポータルサイト「やってみよう情報モラル教育」(平成 20 年) <small>(財) 日本教育工芸会編成) http://kyosyo.info/moral-guidebook-2007/</small></p> <p>○情報モラル指導セミナー「5 分で分かる情報モラル」(平成 19 年) <small>(財) コンピュータ教育開発センター) http://www.nctd.go.jp/5min_moral/index.html</small></p> <p>○「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」(平成 21 年) <small>(財) コンピュータ教育開発センター) http://www.ccc.or.jp/ka/h21oyako_index.html</small></p> <p>○ここからはじめる情報モラル指導者研修ハンドブック(平成 22 年) <small>(財) コンピュータ教育開発センター) http://www.ccc.or.jp/morobu/pdf/h22/moral/</small></p> <p>○情報モラル教材ポータルサイト「ネット社会の歩き方」(平成 21 年) <small>(財) コンピュータ教育開発センター) http://www.ccc.or.jp/net-walk/</small></p> <p>○これであなとも著作権内でも博士(学校教育者向け著作権の教育情報) <small>(財) 財) http://www.bunka.go.jp/typosaku/chosaku_hokusei.html</small></p> <p>○文部科学省 道徳教育(小・中学校 道徳 読み物資料集) <small>(文部科学省) http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/</small></p>	<p>指導に役立つ参考資料のリンク先も掲載されています。</p> <p>●児童生徒用教材として、「ネット社会の歩き方」など利用すると、時間を掛けずに授業の準備を行うことができます。</p> <p>ネットには、授業に役立つ教材がたくさんあります。時間があるときにいろいろ見つけておくで役立ちます。</p> <p>●</p>
<p>ス ラ イ ド 44</p>	<p style="text-align: center;">まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットの問題について知る努力をする。 ・子どもが相談しようと思える信頼関係を築く。 ・情報モラル教育を系統的に行う。 	<p>今日の研修のまとめです。</p> <p>私たち教職員は、●子どもたちを取り巻くインターネットやスマートフォンの問題について知る努力をしましょう。</p> <p>そして、問題の早期発見や早期解決のためにも、●子どもが相談しようと思える信頼関係を築くことが大切です。</p> <p>また、●学校教育全体を通して、情報モラル教育を系統的に行い、子どもの心を育て、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を育てていきましょう。</p> <p>これで情報モラルの研修を終わります。</p>